

隈 研 吾

那珂川町馬頭広重美術館と隈研吾が求めた

「点・線・面」

の新しいあり方

那珂川町馬頭広重美術館 視聴覚研修室

2021.7.20(火) — 8.15(日)

観覧料 | 無料

(ただし、特別展観覧 は 700 円 となります。)

休場日 | 7.26~28 7.31 8.2 8.10

開館時間 | 9:00~17:00 (入館は16:30迄)

建 築 展

© peppe maisto 2006



那珂川町馬頭広重美術館

〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭 116-9

TEL.0287-92-1199 FAX.0287-92-7177 <http://hiroshige.bato.tochigi.jp/>

隈研吾 建築展

2021.7.20(火) — 8.15(日)

観覧料 | 無料

ただし、特別展観覧 は 700 円 となります。

那珂川町馬頭広重美術館と隈研吾が求めた

「点・線・面」

の新しいあり方

建築模型 (3点)



© Photography by 東日本旅客鉄道株式会社



© Photography by Mitsumasa Fujitsuka



© Photography by Mitsumasa Fujitsuka

高輪ゲートウェイ駅

2020年/東京都港区

那珂川町馬頭広重美術館

2000年/栃木県那珂川町

石の美術館

2000年/栃木県那須町

当美術館の建築は、隈研吾氏が歌川広重の「大はしあたけの夕立」や「東海道五十三次 之内 庄野 白雨」の夕立の線をヒントにデザインされ、当館が所蔵する浮世絵とともに注目を集めています。昨年、開館 20 周年を迎えた美術館として、あらためて隈建築に焦点を当てた展示を開催いたします。

隈氏は、これまでのコンクリート建築によるボリューム（量塊）を、点・線・面へと解体して、風通しをよくして、そのことにより人と物を、人と環境を、人と人をつなぎ直したいと述べています。そのなかで、「線」に最初に取り組んだのは、那珂川町馬頭広重美術館です。この度の展示は、隈氏がデザインした代表的な建築作品16 点を「点・線・面」から大まかに分類しており、これらの展示をとおして隈氏が求める建築のあり方をつかんでいただくと同時に、当美術館を浮世絵と建築の両視点から見つめていただければ幸いです。

建築写真 (16点)

- 国立競技場（東京都新宿区）
- 石の美術館（栃木県那須町）
- 那珂川町馬頭広重美術館（栃木県那珂川町）
- 高輪ゲートウェイ駅（東京都港区）
- ちよつ蔵広場（栃木県 高根沢町）
- ブザンソン芸術文化センター（ブザンソン・フランス）
- 中国美术学院民芸博物館（杭州・中国）
- 角川武蔵野ミュージアム（埼玉県所沢市）
- アオーレ長岡（新潟県長岡市）
- Odunpazari Modern Museum（エスキシェヒル・トルコ）
- The Exchange（シドニー・オーストラリア）
- 竹屋 Great(Bamboo)Wall（北京・中国）
- 富岡 倉庫 3 号倉庫（群馬県富岡市）
- サニーヒルズジャパン（東京都表参道）
- V&A Dundee（ダンディ市・英国スコットランド）
- 梶原 木橋ミュージアム（高知県 梶原 町）



公共交通機関をご利用の方は
●JR宇都宮線氏家駅から関東バス（旧東野バス「馬頭車庫行き」で約60分「室町（旧馬頭役場前）」下車）

お車をご利用の方は
●東北自動車道宇都宮インターから国道293号で那珂川町へ
●東北自動車道矢板インターから国道4号→県道74号さくら市喜連川→国道293号で那珂川町へ
●常磐自動車道那珂インターから国道118号→国道293号で那珂川町へ

レンタカーをご利用の方は
●宇都宮駅・那須塩原駅から



那珂川町馬頭広重美術館

〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭 116-9

TEL.0287-92-1199 FAX.0287-92-7177 <http://hiroshige.bato.tochigi.jp/>